

株主通信

Vol. **19** | 2012年3月期 決算のご報告
2011年4月1日～2012年3月31日

New Innovative Wave

「これからの医療」のために。

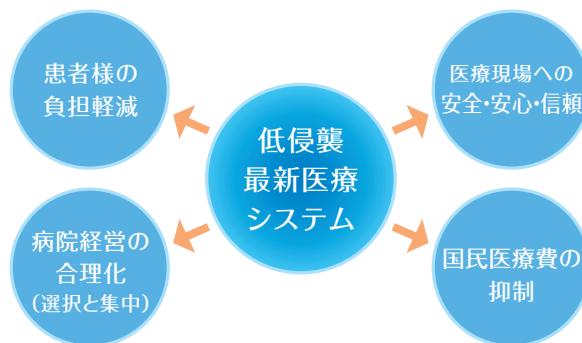


株式会社 ウイン・インターナショナル

JASDAQ 証券コード: 2744

私たちは、「低侵襲最新医療システム」を提供し、
新しい医療のあり方を提案します。

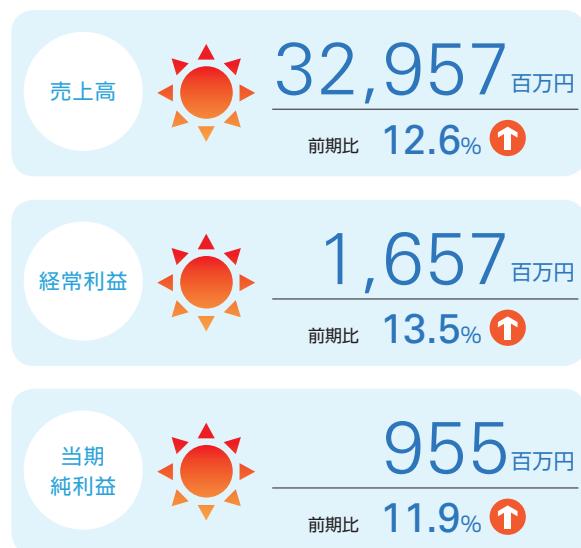
私たちウイン・インターナショナルは、“低侵襲治療”を軸に、高度医療商社として、医師、医療機関、患者様、メーカーに対して総合的なサービス、提案を行い、医療分野の発展に継続的に寄与し、国民の健康及びそれを支える医療に貢献することを目指しております。「低侵襲最新医療システム」とは、当社の目指す方向性とこうした総合力を表現しております。現在、わが国では医療財源をはじめとした医療に関する様々な問題が存在しております。将来にわたる国民生活の安心・安全を確保するためにも、これらの問題を解決し、社会情勢の変化による新たなニーズに対応した“あるべき医療”の実現に向け、各医療関係者のみならず、医療を受ける国民ひとりひとりが、それぞれの立場で取り組んでいく必要があります。当社は「低侵襲最新医療システム」を推進し、“あるべき医療”の実現に向け、皆様と共に歩むベストパートナーを目指します。



医師、医療機関、患者様、メーカー、行政、
それぞれとWin-Winの関係を構築

第29期の営業成績のご報告

DESの販売が大きく伸長。過去最高の売上高、利益を達成。



財務ハイライト

(百万円)

	2010/3 2009年4月1日から 2010年3月31日まで	2011/3 2010年4月1日から 2011年3月31日まで	2012/3 2011年4月1日から 2012年3月31日まで
売上高	29,987	29,258	32,957
営業利益	1,541	1,449	1,648
経常利益	1,548	1,461	1,657
当期純利益	902	854	955
総資産	15,091	14,728	16,595
純資産	6,161	6,674	7,259
自己資本比率(%)	40.8	45.3	43.7
1株当たり当期純利益(円)	73.34	69.41	78.23
1株当たり期末配当金(円)	26.0	25.0	28.0

第29期は、売上高、利益とも 過去最高を達成。第30期の診療報酬改定を 乗り越え、さらなる飛躍へ。

株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、ここに第29期(2012年3月期)株主通信をお届けいたします。

第29期は、前期末に発生した東日本大震災をはじめとする自然災害などを受け、医療分野でも市場環境が厳しさを増した1年となりました。

しかし、そうした中であっても、当期はおかげさまで売上高、営業利益、経常利益で過去最高を達成いたしました。

第30期におきましても「低侵襲最新医療システム」の推進によって国民の健康、それを支える医療に貢献してまいりますので、なお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



株式会社ウイン・インターナショナル
代表取締役社長 秋沢 英海

第29期の市場環境及び業績について お聞かせください。

期初には、東日本大震災による製品供給元の被災や物流機能の停滞などの影響がみられたものの、被災地の皆様や医療機関の皆様をはじめ、多くの方々から復興活動に大変に尽力され、当社もそうした状況をできる限りサポートする体制で事業活動を展開してまいりました。

また、当社コアビジネスの心臓治療関連では既存顧客の深耕とともに、新規顧客を獲得することができ、糖尿病関連(DMS)の拡大も進めることができました。

そのため当期は、売上高329億57百万円(前期比12.6%増)、営業利益16億48百万円(前期比13.7%増)、経常利益16億57百万円(前期比13.5%増)の過去最高実績を残すことができました。

好業績の牽引力となったのは、 どのようなことでしょうか。

第29期の医療機器販売事業(消耗品関連)は売上高322億35百万円(前期比11.6%増)となりました。取扱製品のほとんどが販売量を伸ばし、特に主力取扱製品である薬剤溶出ステント(DES)が業績を大きく牽引しました。2010年に発売された製品が、安全性・有効性で良好な結果を得たこと、厚生労働省が、DESの使用範囲を拡大したことが要因として考えられます。このように医療機器の発達による性能・効果の向上や安全性・有効性の確認、適用の拡大によって低侵襲治療機器の市場は今後も拡大していくと見込まれ、当社としても引き続き注力してまいります。また、当期は糖尿病関連も多くの取引先を獲得し、売上高を前期から大幅に伸ばさせることができました。当社が取り扱うインスリンポンプは、患者様の生活の質の改善に期待できるとして、



患者様からも医療機関からも高い評価をいただいております。しかし、インスリンポンプ療法は欧米に比べ、日本では普及率が低い現状があります。インスリンポンプ療法の啓蒙・普及を推進させて糖尿病治療の環境整備に寄与できればと考えております。

そして、医療施設支援事業(その他)では、企画提案力を強化し、情報収集においての医療機器販売事業との連携によって、医療施設の新築・改築案件や大型医療機器の販売案件を獲得し、売上高7億22百万円(前期比89.6%増)と大きく業績を伸ばしました。また、当事業で医療機関との強固な信頼関係を構築し、その後の消耗品の継続取引に繋げるなど、医療機器販売事業と医療施設支援事業が一体になった営業活動が効果を上げています。

新規顧客の開拓に力を入れておられますが 第29期の成果はいかがでしょう。

心臓カテーテル手術を受けられる患者様は65歳~79歳の方が非常に多く、高齢化も要因となり、手術件数は年々増加しております。特に首都圏では、高齢者人口の増加が全国平均を上回っ

ており、当社では首都圏戦略を取っております。そうした中、首都圏を中心に国公立病院、グループ病院のほか、循環器分野で高度専門化を進めている医療機関を中心に新規獲得することができ、当期業績に大きく貢献しました。また新規開拓のみならず、既存取引先への専門性や品質の高いサービスの提供や病院のニーズを的確にとらえた有益な営業提案が評価され、院内シェアを高めることができたほか、当初の診療科から他診療科へもお取引が拡大しております。これは、まさに狙い通りの成果といえます。

第30期に注力する事業活動と 業績目標などお聞かせください。

2年に1度行われる診療報酬改定は医療業界に大きな影響を及ぼします。そして、第30期は診療報酬の改定期にあたります。

当社業績に対する影響は、第29期売上高に対しマイナス9%程度と試算しております。これまで当社は営業活動、メーカーとの交渉、本社コストの見直しや効率化などにより経営体質の強化に取り組むことで、診療報酬改定による業績への影響を最小限に抑え、その翌期には大きな躍進に繋げております。これまでの取り組みの蓄積によって、第30期は診療報酬改定があっても、増収増益へとつなげられるものと考えております。そして、第31期には大きな躍進を目指します。今後も業績に直結する取り組みを継続するほか、一層の経営の透明化、コンプライアンス体制や財務体質の強化を図り、診療報酬改定及び業界の再編に耐えられる強力な経営体制の構築に努めてまいります。

全国展開の拠点整備について お聞かせください。

2012年2月に山口出張所を、4月には札幌出張所を開いたしました。第30期は、これらのエリアでの当社の存在感を高めてまいります。

拠点整備にあたっては医療機関や医師との信頼関係を築き、



高度医療化のサポートなど、医療全体を視野に入れて思考できる営業の要としての活躍に期待しています。

貴社の情報発信、IR活動についてお聞かせください。

株主通信のアンケートや各種IR説明会では、「医療用語に敷居の高さを感じる」、「医療業界は、一般の商取引とは異なる部分があり、わかりにくい」といったご意見を頂戴することがあります。当社は多くの個人株主の皆様を支えられている企業として、当社の理念や情報を様々な角度からわかりやすくご案内することが重要と考え、その一環として、4月2日に、当社HPをリニューアルしました。また、IRサイトの更新、決算・その他重要事項の最新情報を、随時Eメールにてお知らせする、IRメールマガジンの配信を開始いたしましたので、是非、ご利用いただきたいと思います。



IRメールマガジンはHPからお申込みください。

今後とも、皆様とのコミュニケーションを密にして、より一層当社への理解と親しみを深めていただけるよう努力を重ねてまいります。

最後に株主の皆様へのメッセージをお願いします。

当社では、株主の皆様へ適正な利益還元を行うべく、配当性向を35%以上としております。当期は期初見通しよりも業績が上回ったことから、配当も1株当たり27円から28円とさせていただきます。

当社は、「安全・安心・信頼」という当社事業の基本を頑なに守りながら、今後も「低侵襲最新医療システム」を推進する中で、医療分野だけでなく株式市場においても、社名の通り“新たな価値”を生み出し、広げてまいりたいと考えております。今後とも皆様のご支援を頂戴いたしたく、何卒よろしくお願い申し上げます。

当社の考え方をご理解いただきながら進めております。今後も準備の整った地区から順次拠点を設けてまいります。

人財の採用と教育・育成についての方針などをお聞かせください。

採用に関しては、新卒者を継続的に採用していきます。若い世代には、まず仕事の価値観や尺度を確立してほしいと願っています。当社の仕事は生命に直結する医療に関わりますから、人間としての道徳や倫理観が重要となります。自らの人間性や徳性を磨きながら、顧客のために知恵を出し、汗をかく、そして、その分の利益をいただくということを理解して仕事に取り組んでほしいと思います。

教育に関しては、課長職以上の社員が医業経営コンサルタント資格の取得に取り組んでおります。これは、各自が積み上げてきた知識・経験を当社の強みである病院経営への踏み込んだ提案に最大限に活かすためのノウハウを学び、営業力を強化するためです。業界の動向、エリア分析や集患施策、設備投資による

● Point 売上高

医療機器販売事業(消耗品関連)では、既存顧客への販売量の増加、新規顧客の獲得により前期比11.6%増加し、医療施設支援事業(その他)では、医療施設の新築・移転案件を獲得し、大型医療機器の販売も好調だったことから、89.6%増と大幅に伸ばしました。その結果、売上高は全体で前期比12.6%増加し、過去最高となりました。

● Point 営業利益

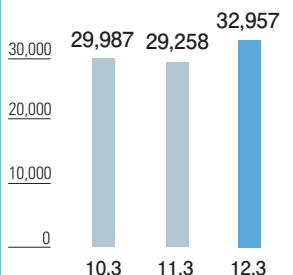
営業強化のために積極的な採用を行ったことなどにより、人件費を中心に販売管理費が8.8%増加しましたが、販売管理費以上に売上高が伸びました。その結果、営業利益は前期比13.7%増加し、過去最高となりました。

損益計算書(要旨)

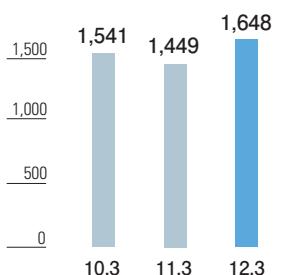
(単位:百万円)

	当期 2011年4月1日から 2012年3月31日まで	前期 2010年4月1日から 2011年3月31日まで	増減 (△印は減)
● 売上高	32,957	29,258	3,698
売上原価	28,603	25,322	
売上総利益	4,354	3,936	
販売費及び一般管理費	2,706	2,486	
● 営業利益	1,648	1,449	198
営業外収益	11	14	
営業外費用	1	2	
経常利益	1,657	1,461	196
特別利益	7	5	
特別損失	7	3	
税引前当期純利益	1,657	1,462	194
法人税等	702	608	
当期純利益	955	854	101

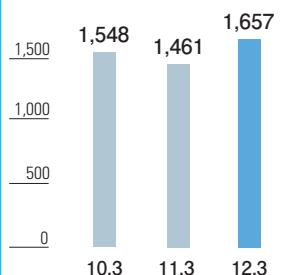
売上高 (百万円)



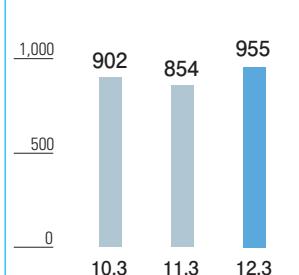
営業利益 (百万円)



経常利益 (百万円)



当期純利益 (百万円)





貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

	当期末 2012年3月31日現在	前期末 2011年3月31日現在	増減 (△印は減)
資産の部			
流動資産	14,865	13,026	1,838
現金及び預金	3,980	4,026	
受取手形	1,756	1,268	
売掛金	8,077	6,678	
商品	696	778	
その他	354	275	
固定資産	1,729	1,701	27
有形固定資産	1,196	1,168	
無形固定資産	122	95	
投資その他の資産	409	437	
資産合計	16,595	14,728	1,866
負債の部			
流動負債	9,146	7,848	1,297
支払手形	2,405	2,001	
買掛金	5,910	5,233	
その他	830	613	
固定負債	189	205	△15
負債合計	9,335	8,054	1,281
純資産の部			
株主資本	7,230	6,644	586
資本金	330	330	
資本剰余金	196	196	
利益剰余金	6,764	6,116	
自己株式	△61	△0	
評価・換算差額等	28	29	△1
純資産合計	7,259	6,674	585
負債純資産合計	16,595	14,728	1,866

● Point 資産合計

売上高の増加に伴って、受取手形や売掛金が増加したことなどにより、前期末に比べ1,866百万円の増加となりました。

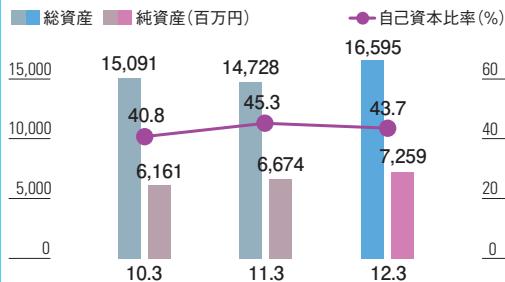
● Point 負債合計

売上高の増加に伴って、仕入高も増加し、支払手形や買掛金が増加したことなどにより、前期末に比べ1,281百万円の増加となりました。また、来期に銀行借入を完済し、無借金となる予定です。

● Point 純資産合計

配当金や自己株式の取得などで減少したものの、当期純利益によって、純資産は前期末に比べ585百万円の増加となりました。

総資産／純資産／自己資本比率



キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

	当期 2011年4月1日から 2012年3月31日まで	前期 2010年4月1日から 2011年3月31日まで	増減 (△印は減)
営業活動によるキャッシュ・フロー	596	616	△20
投資活動によるキャッシュ・フロー	△200	△123	△76 ●
財務活動によるキャッシュ・フロー	△441	△399	△42
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—	—
現金及び現金同等物の増減額	△45	93	△139
現金及び現金同等物の期首残高	4,026	3,933	93
現金及び現金同等物の期末残高	3,980	4,026	△45 ●

● Point 投資活動による キャッシュ・フロー

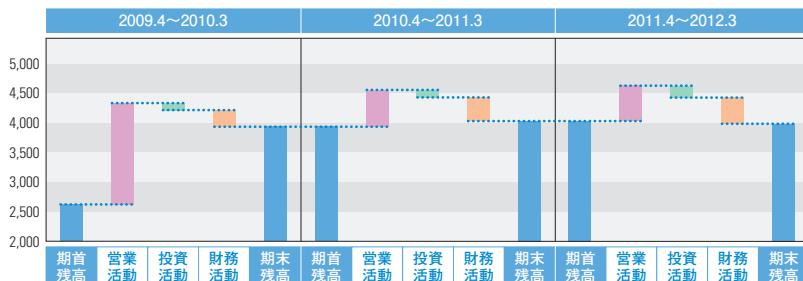
営業所の移転、出張所の開設などによる有形固定資産の増加、物流/販売管理システムの開発などによる無形固定資産の増加により、前期比76百万円の減少となりました。

● Point 現金及び現金 同等物の期末残高

現金及び現金同等物の期末残高は前期比45百万円減少しましたが、前期末とほぼ同水準となりました。

グラフで見るキャッシュ・フローの推移

(単位:百万円)



IRカレンダー



会社概要 (2012年3月31日現在)

社名	株式会社ウイン・インターナショナル
英文社名	WIN INTERNATIONAL CO., LTD.
事業内容	医療機器販売事業
本社	東京都台東区台東四丁目24番8号
主な拠点	東京、千葉、埼玉、神奈川、福島、大阪、香川、福岡
設立年月日	1983年6月1日
資本金	330,625千円
従業員数	265名

取締役、監査役、会計監査人 (2012年6月26日現在)

代表取締役社長	秋沢 英海
取締役	三田上 浩美
取締役	村田 裕可
取締役	間島 進吾
常勤監査役	卜部 容志孝
監査役	神田 安積
監査役	菊地 康夫
補欠監査役	大友 良浩
会計監査人	有限責任あずさ監査法人

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	期末配当金 3月31日
公告方法	電子公告 URL http://www.win-int.co.jp/koukoku/index.html ただし、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
株主名簿管理人 (特別口座の口座管理機関)	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社

株式の状況 (2012年3月31日現在)

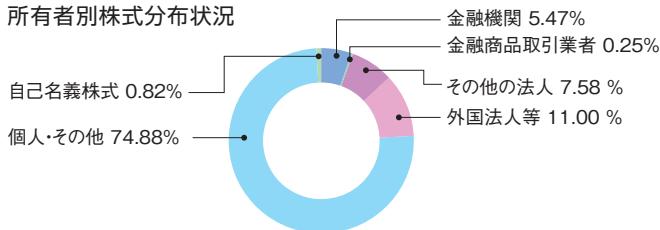
発行可能株式総数	47,000,000株
発行済株式の総数	12,303,400株
株主数	2,664名

大株主(上位5名)

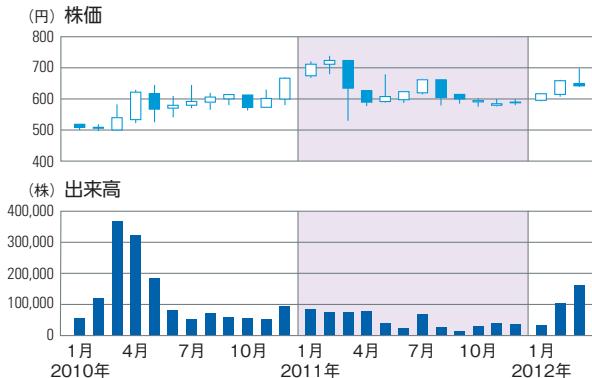
株主名	持株数(株)	持株比率(%)
秋沢 英海	4,107,300	33.66
ビービーエイチファイデリティロープライズストック ファンド(プリンシパルオールセクターサポートフォリオ) (常任代理人株式会社三菱東京UFJ銀行)	800,071	6.56
グリーンホスピタルサプライ株式会社	800,000	6.56
メロンバンクエヌエートリーティークライアント オムニバス(常任代理人株式会社三菱東京UFJ銀行)	430,229	3.53
株式会社三菱東京UFJ銀行	400,000	3.28

(注) 持株比率は自己株式(100,348株)を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況

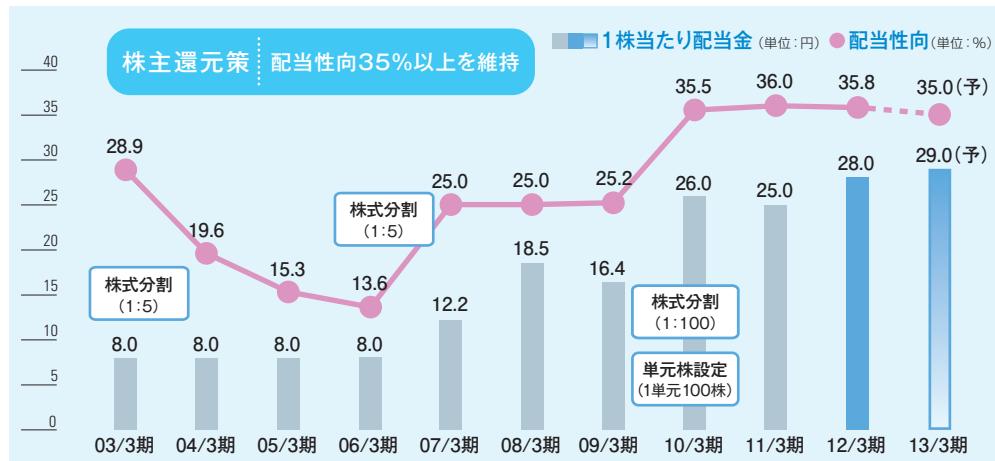


株価及び出来高の推移



● 配当についての基本方針

当社は、将来の事業展開と経営基盤の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、株主各位に対して適正な利益還元を行うため、配当性向を35%以上とすることとし、期末に一括配当として、剰余金の配当を行うことを基本方針としております。



● Point 配当

2012年3月期の期末配当につきましては、業績が当初予想を上回り過去最高の売上高及び経常利益となったことから、1株当たり配当金を27円から28円に上方修正しました。

● 配当金のお受け取りについて

2012年6月26日発送の「配当金領収証」をお近くのゆうちょ銀行全国本支店及び出張所ならびに郵便局へお持ちください。今後、銀行などの預金口座、ゆうちょ銀行の貯金口座または証券会社の総合口座への振込をご希望で、お取引の証券会社で株式を管理されている方は、お取引の証券会社へ、当社が開設する特別口座で株式を管理されている方は、三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部(電話：0120-232-711 通話料無料)へお問い合わせください。

● 「配当金計算書」について

配当金のお支払いの際送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。

*確定申告をなされる株主様は、大切に保管してください。

● 払渡期間経過後の配当金のお取り扱い

「配当金領収証」の裏面に受取方法を指定し、三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部までご郵送いただくか、同銀行全国各支店窓口にてお受け取りください。

● 住所などの変更手続きについて

住所、氏名、配当金の振込口座などの変更は、お取引の証券会社にお申し出ください。

● 株主名簿管理人

東京都千代田区丸の内一丁目4番5号

三菱UFJ信託銀行株式会社

同事務取扱場所 〒137-8081

東京都江東区東砂七丁目10番11号

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

電話：0120-232-711(通話料無料)

(同取次窓口)

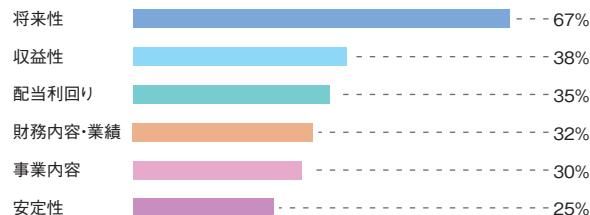
三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店

株主通信 Vol.18のアンケート結果

アンケート調査に多くの回答と温かいメッセージをいただき、ありがとうございました。
アンケートの結果を下記に掲載させていただきましたのでご参照ください。

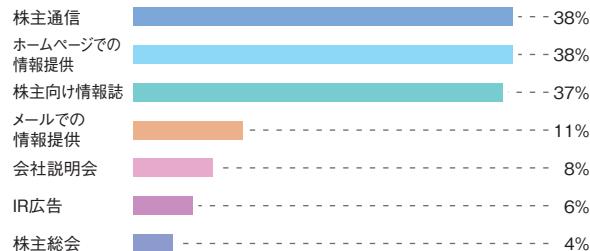
あなたが当社の株式を購入された理由は何ですか。

(複数回答 上位6項目/%)



あなたが当社のIR活動について、特に充実を希望することは何ですか。

(複数回答 上位7項目/%)



株主の皆様からの
ご意見

東証への市場替えをしてほしい。

(60歳代・男性)

A

貴重なご意見、誠にありがとうございます。
東証への市場替えのご意見は様々な場所で頂戴いたします。我々も可能性のひとつとして考えておりますが、現段階では具体的な計画はございません。今後も検討を続けていく予定です。

今後も株主の皆様からのご意見には真摯に耳を傾け、当社ビジネスを一層発展させるための糧とさせていただきます。

● 株主の皆様へのアンケートのお願い

当社では、株主・投資家の皆様とのコミュニケーションを図るため、アンケートを実施させていただいております。

なお、従来のハガキによるご回答に加えてインターネットからもご回答いただけます。

お手数ではございますが、ご協力の程、よろしくお願いいたします。

インターネットをご利用いただけない株主様は、
こちらのハガキをご利用ください。

該当する項目の番号に○を付けてください。
特に指定のないもの以外は「1つだけ」お選びください。

問1 あなたが投資先を検討する際、よく利用する情報源をお知らせください。(3つまで)

- ①新聞 ②会社四季報・日経会社情報 ③経済誌・投資情報誌 ④アナリストレポート
⑤証券会社の営業員 ⑥一般株式情報サイトやメールマガジン ⑦企業のホームページ
⑧会社説明会 ⑨その他()

問2 あなたは当社の株式を購入する際、社名をどこでお知りになりましたか。

- ①TV・新聞・雑誌など ②インターネット ③会社四季報・日経会社情報 ④アナリストレポート
⑤証券会社の紹介 ⑥知人の紹介 ⑦以前から知っていた ⑧その他()

問3 あなたが当社の株式を購入された理由は何ですか。(いくつでも)

- ①将来性 ②収益性 ③安定性 ④独自性 ⑤知名度 ⑥経営者の考え方 ⑦経営方針
⑧事業内容 ⑨財務内容・業績 ⑩社会・環境問題への取組み度 ⑪配当利回り
⑫証券会社の勧め ⑬その他()

問4 あなたは当社の株式に対してどのような方針をお持ちですか。

- ①買い増し ②長期保有 ③売却 ④未定

問5 あなたが当社の株式に対する方針を決定する際、特に重視するものをお知らせください。
(3つまで)

- ①将来性 ②収益性 ③安定性 ④独自性 ⑤知名度 ⑥経営者の考え方 ⑦経営方針
⑧事業内容 ⑨財務内容・業績 ⑩社会・環境問題への取組み度 ⑪配当利回り
⑫株主優待 ⑬その他()

問6 あなたは当社のIR活動に満足していますか。

- ①満足している ②普通 ③不満である

問7 あなたが当社のIR活動について、特に充実を希望することは何ですか。(いくつでも)

- ①ホームページでの情報提供 ②メールでの情報提供 ③会社説明会 ④株主総会
⑤株主通信 ⑥株主向け情報誌 ⑦IR広告 ⑧その他()

問8 当社の株主通信について、情報量はいかがですか。

- ①多すぎる ②ちょうど良い ③少なすぎる

問9 当社の株主通信について、わかりやすさはいかがですか。

- ①わかりやすい ②普通 ③わかりにくい

問10 当社の株主通信について、読みやすさはいかがですか。

- ①読みやすい ②普通 ③読みにくい

その他ご意見・ご要望等がございましたらご記入ください。

キ
リ
ト
リ
線

アンケートはインターネットから
ご回答いただけます。

インターネットをご利用いただけない株主様は、
こちらのハガキをご利用ください。



郵便はがき

1 1 0 8 7 9 0

220

料金受取人払郵便

上野支店承認

7022

差出有効期間
平成24年9月
30日まで

切手はいりません

東京都台東区台東四丁目24番8号

株式会社ウイン・インターナショナル
総務部 行



キ
リ
ト
リ
線

性 別	<input type="checkbox"/> 男性 <input type="checkbox"/> 女性
年 齢	<input type="checkbox"/> 29歳以下 <input type="checkbox"/> 30~39歳 <input type="checkbox"/> 40~49歳 <input type="checkbox"/> 50~59歳 <input type="checkbox"/> 60~69歳 <input type="checkbox"/> 70歳以上
お住まいの 都道府県	
ご 職 業	<input type="checkbox"/> 会社員 <input type="checkbox"/> 会社役員 <input type="checkbox"/> 公務員・非営利団体職員 <input type="checkbox"/> 自営業 <input type="checkbox"/> パート・アルバイト・フリーター <input type="checkbox"/> 専業主婦 <input type="checkbox"/> 学生 <input type="checkbox"/> 無職・定年退職 <input type="checkbox"/> その他
株式投資歴	<input type="checkbox"/> 1年未満 <input type="checkbox"/> 1~2年未満 <input type="checkbox"/> 2~5年未満 <input type="checkbox"/> 5~10年未満 <input type="checkbox"/> 10年以上

株主様向け
アンケート

株主の皆様の声をお聞かせください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、
アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、
アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、
アクセスコード入力後に表示される
アンケートサイトにてご回答ください。
所要時間は5分程度です。

 <http://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 2744

いいかぶ

検索 



空メールによりURL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)
アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。



携帯電話からもアクセスできます

QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使い
の方は、右のQRコードからもアクセスできます。



●アンケート実施期間は、本誌が
お手元に到着してから約2ヶ月
間です。

インターネットでご回答いただいた方
の中から抽選で薄謝(図書カード500円)
を進呈させていただきます



※本アンケートは、株式会社 a2media(エーツー・メディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社 a2mediaについての詳細 <http://www.a2media.co.jp>) ※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ TEL:03-5777-3900(平日 10:00~17:30)
「e-株主リサーチ事務局」 MAIL:info@e-kabunushi.com



株式会社 ウイン・インターナショナル

〒110-8558 東京都台東区台東四丁目24番8号
TEL.03-5688-0878

ホームページを
リニューアルいたしました。  <http://www.win-int.co.jp/>



本誌は、環境に優しい植物油
インキを使用して印刷しています。



この冊子の印刷・製本に係るCO₂は
PROJECT-With the Earth を
通じてオフセット(相殺)しています。